

津嘉山地域福祉懇談会を開催しました！



10/24 (木) 19:00～津嘉山地域振興

資料館において懇談会を開催しました。前半は講話「生活習慣を今一度考える」を行い、また後半では「津嘉山地域に関して日頃感じていること」をテーマに懇談を行いました。

〈懇談で出てきた意見〉

- ・津嘉山がふるさとになるような取り組みをしていきたい（「子どもの頃、地域でこんなことしたなあ」と思い返せるような…）
- ・子供たちに地域のつながり、どこの班に住んでいるのか等原点に戻って地域のこと、歴史等を教えていく必要がある
- ・学校が要。学校と地域が一緒になって見守っているという体制をつくってほしい
- ・学校と公民館が近いのがいい
- ・青年会・体協・老人会が別々に活動している⇒協働で企画してやる行事がない
- ・何年か前はだれでもあいさつすると返ってきた⇒大人のあいさつ運動から子どもへ
- ・学習支援を復活させてほしい
- ・ていがね一の会と子ども食堂が一緒にできたらいい
- ・津嘉山に住所をおくときにタオル等の記念品を渡す入村式？等その後の字費を払ってもらえるよう促し方を考えてみてはどうか
- ・字費の徴収で組長が10件くらいまとまって回っているが、お金のやり取りのみになっているのもっと声かけがあってほしい（最近の状況確認等）
- ・町での会合、PTA総会等で字費の加入の促し
- ・字の評議員や福祉の方がもっと地域をまわった方がいい
- ・Aコープがなくなったのがショックだった。地域で作ったものが買えるのが嬉しかったが。
- ・70歳以上の車の事故が多いが、病院に行くには車がないと不便⇒なんじ一号のような外出支援が今後必要
- ・足や腰が痛い人・高齢者はどんなふう買い物しているか気になる
- ・男性の食生活、一人暮らしの男性のところも気になる



…このほかにも多くの意見が出ました。

社協としては、自治会等と連携して今回出された課題・提案をもとに地域づくりに取り組んでいきたいと思えます。

また「津嘉山のことを津嘉山で話そう 第2弾」として、「防災・防犯と地域生活を考える」「津嘉山地域の将来はこうあってほしい！こうしたい！」などをテーマ（検討中）に、地域住民と考え、意見を反映させる機会がまたつくれたらと思っています。

今回ご参加いただいた住民のみなさん、ありがとうございました。

